

# あきた 県議会議 だより

秋の米が  
あきた県議  
だよりへ

令和5年7月発行  
No.184  
全戸配布広報紙  
年4回発行



さきまい  
鷺舞まつり(潟上市飯田川)  
神明社(現下虻川神社)が建立されたお  
り、疫病鎮護を願って藩主の御前で舞  
われたのがはじまり。  
毎年8月第1日曜日開催。

Topics

今号のトピックス

- ・新たな顔ぶれで県議会議がスタート!
- ・「県議会議への意見」を募集します

# 正副議長就任あいさつ

5月15日の本会議におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。

国際的な緊張の高まりや、燃料・原材料などの価格高騰等、国内外の情勢が激しく変化し、新しい時代への転換期を迎えている中、わが秋田県では、待ったなしの課題を多く抱え、まさに先送りの許されない状況にあります。

それゆえ、私ども秋田県議会は、知事とともに二代表制の一翼を担う存在として、県民の皆様の声に真摯に耳を傾け、課題と向き合うことが何より肝要であると認識しております。

また、県当局とは、相互に緊張感を保ちながら地方議会に与えられた住民代表機能や監視機能、政策立案機能等を最大限に発揮し、皆様からの負託と信頼に応えるべく、全力で取り組む決意であります。

県民の皆様の御支援と御協力をお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。



写真左 北林丈正議長／写真右 鈴木健太副議長

## 「県議会への意見」募集

議会の審議や政策提言の参考にするため、県民の皆様からご意見を募集します。

### テーマ1 人手不足解消のための規制緩和等

運送業などでは、働き方改革が進む一方、人手不足で経済活動の停滞を招く懸念がある。人手不足解消のためには、どの分野でどのように規制の緩和・見直しをすべきか。

### テーマ2 「あきたこまちR」への全量転換

令和7年度に「あきたこまち」から全面切替となり、一般作付が開始されるが、このことをどう考えるか。

### テーマ3 暮らしを支える地域公共交通

減便廃線など地域公共交通のサービス低下により住民の不便、不安が拡大する中、どのような支援や代替策が望ましいか。

### テーマ4 新県立体育館の整備

現在基本計画(収容人数、駐車台数、整備費など)が検討されているが、機能や規模等について、どう考えるか。

### テーマ5 観光振興のための二次交通

空港や駅から観光地までの交通のあり方を考え、それを観光振興につなげるために、どのような取組が必要か。

### テーマ6 結婚・出産の希望を叶えるために

結婚の希望を叶え、子どもを持ちたいと願う県民が安心して出産するために、どのような支援・施策が必要か。

### テーマ7 コロナ収束後の人口減少対策

他県の自治体が様々な移住・定住施策を掲げる中、本県ではどのような独自の施策を講じ、人口減少の抑制を図るべきか。

### テーマ8 地域の医療

二次医療圏を、現行の8医療圏から3医療圏に再編する方針が示されているが、このことをどう考えるか。

### テーマ9 部活動の地域移行

教員の負担等が軽減される一方、児童・生徒の広域移動の手段確保や保護者の負担などの課題も多い。どのような支援が望ましいか。

### テーマ10 高齢ドライバーの事故防止

運転免許証返納とそれに伴う各種支援のほか、どのような対策が望ましいか。

### テーマ11 行政用語の「平易化」

行政用語に「DX(ディーエックス)」、「リスクリング」など、専門用語が多用されているが、県民、特に高齢者が理解しやすい行政用語とはどうあるべきか。

#### 募集期間

- 令和5年8月21日(月)まで

#### 必要記載事項

- タイトル:「県議会への意見」
- 住所、氏名及び年代(10代、20代など)

#### 提出方法

- ①郵送…〒010-8570(住所省略可)(当日消印有効)  
秋田市山王四丁目1番1号  
秋田県議会事務局 政務調査課
- ②ファックス…018-860-2108
- ③メール…kengikai@mail2.pref.akita.jp

#### ④秋田県議会ウェブサイト…「県議会へのご意見」

URL:<https://pref.akita.gsl-service.net/>

#### 留意事項

- 1 いただいたご意見は、個人情報伏せて全議員に回覧するほか、居住地や年代を示した上で広報紙やウェブサイトでご紹介する場合があります。(掲載例:秋田市・50代、湯沢市・70代)
- 2 掲載に際しては、編集・省略する場合がありますが、第三者が著作権等の権利を有している著作物等(例:新聞紙面の写し、テレビ番組の画像、書籍、地図等)が含まれる場合、該当箇所のみ又は意見全体について掲載できないことがあります。

# 秋田県議会議員一覧（委員会所属別）

## 総務企画委員会 総務部、企画振興部、あきた未来創造部、選挙管理委員会及び人事委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項



◎住谷 達  
自民党・湯沢市雄勝郡



○島田 薫  
自民党・秋田市



鶴田 有司  
自民党・横手市



高橋 武浩  
自民党・能代市山本郡



小棚木 政之  
自民党・大館市



三浦 茂人  
みらい・秋田市



松田 豊臣  
公明党・秋田市

## 福祉環境委員会 健康福祉部及び生活環境部の所管に属する事項



◎佐藤 正一郎  
みらい・湯沢市雄勝郡



○鈴木 真実  
自民党・南秋田郡



加藤 鉦一  
自民党・由利本荘市



北林 文正  
自民党・北秋田市北秋田郡



今川 雄策  
自民党・秋田市



加藤 麻里  
社民党・大仙市仙北郡



沼谷 純  
つなぐ会・秋田市

## 農林水産委員会 農林水産部の所管に属する事項



◎杉本 俊比古  
自民党・男鹿市



○薄井 司  
立民党・能代市山本郡



柴田 正敏  
自民党・横手市



工藤 嘉範  
自民党・秋田市



高橋 健  
自民党・湯沢市雄勝郡



渡部 英治  
みらい・大仙市仙北郡



加賀屋 千鶴子  
共産党・秋田市

## 産業観光委員会 観光文化スポーツ部及び産業労働部の所管に属する事項



◎宇佐見 康人  
自民党・秋田市



○小野 一彦  
自民党・由利本荘市



川口 一  
自民党・鹿角市鹿角郡



佐藤 信喜  
自民党・能代市山本郡



武内 伸文  
自民党・秋田市



三浦 英一  
みらい・由利本荘市



小原 正晃  
立民党・横手市

## 建設委員会 建設部、出納局、監査委員及び労働委員会の所管に属する事項



◎児玉 政明  
自民党・鹿角市鹿角郡



○高橋 豪  
自民党・仙北市



竹下 博英  
自民党・秋田市



佐々木 雄太  
自民党・にかほ市



石田 寛  
立民党・大館市



佐藤 光子  
きらり・北秋田市北秋田郡

## 教育公安委員会 教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項



◎小山 緑郎  
自民党・大仙市仙北郡



○瓜生 望  
自民党・湯上市



鈴木 洋一  
自民党・大館市



原 幸子  
自民党・大仙市仙北郡



鈴木 健太  
自民党・秋田市



山形 健二  
みらい・横手市



櫻田 憂子  
立民党・秋田市

議会運営委員会	◎加藤 鉦一（自民党） 高橋 武浩（自民党） 佐藤 正一郎（みらい）	○佐々木 雄太（自民党） 小野 一彦（自民党） 薄井 司（立民党）	鈴木 洋一（自民党） 島田 薫（自民党） 加賀屋 千鶴子（共産党）	原 幸子（自民党） 小棚木 政之（自民党）
予算特別委員会	◎工藤 嘉範（自民党） ○佐藤 信喜（自民党） その他の全議員で構成			
監査委員	今川 雄策（自民党） 三浦 英一（みらい）			
政務活動費等検討会議	◇加藤 鉦一（自民党） 島田 薫（自民党）	鈴木 洋一（自民党） 三浦 茂人（みらい）	高橋 武浩（自民党） 小原 正晃（立民党）	佐々木 雄太（自民党） 松田 豊臣（公明党）

◎:委員長/○:副委員長/◇:座長

議員氏名	所属会派名・選挙区	会派名	会派略称
議 員 氏 名	所 属 会 派 名 ・ 選 挙 区	自由民主党	自民党
		みらい	みらい
		立憲民主党	立民党
		社会民主党	社民党
		次世代につなぐ会	つなぐ会
		日本共産党	共産党
		公明党	公明党
◎:委員長		きらり	きらり
○:副委員長		きらり	きらり

※会派名は、令和5年5月15日現在の名称を記載しています。

## 一般質問



つる た ゆ う じ  
鶴田有司議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 横手市

MOVIE



### 経済対策 - 県内企業への支援 -

**Q** エネルギー、原材料価格の上昇や為替の変動による物価の高騰は企業活動に大きな影響を与えている。価格転嫁が進んでいないなど、県内企業が置かれている状況を踏まえ、どのように支援していくのが聞きたい。

**A** (産業労働部長) 経営環境が激変する中で、県内企業が着実に企業活動を継続していくためには、価格転嫁に加え、生産性向上や賃上げを進めていくことが重要である。

県内企業からの相談対応や経営指導を行う「あきた企業活性化センター」と連携を深めていくほか、サプライチェーン全体の共存共栄を図るとともに、企業が価格交渉能力を高めていけるよう支援する。

### 人口減少問題 - 社会動態 -

**Q** 本県の人口減少問題の根本は、若年層の流出である。若者や若年女性のニーズを把握し、対策を講じる必要があるのではないか。

**A** (知事) 新たに都内に開設する「あきた暮らし・交流拠点センター」による相談体制の充実や、若年女性や大学等卒業者が能力を活かせる環境確保に取り組んでいく。

さらに、官民対話等の機会を活用し、若者のニーズを踏まえた施策、事業に取り組み、若者が未来に夢と希望を持てる秋田の創出に向け、社会減対策を全力で推進していく。

## 一般質問



たかはし た け ひ ろ  
高橋武浩議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 能代市山本郡

MOVIE



### 白神山地世界遺産登録30周年を契機とした地域振興 - これからの白神山地 -

**Q** 白神山地の核心地域への入山は、青森県側は届出により可能な一方、本県側は原則禁止として白神山地の付加価値を高めてきた。入山規制の是非や有利な財源確保の議論を加速させるべきではないか。

**A** (知事) 本県側核心地域への入山は、学術研究等の特別な事由のある場合に限り認めている。今後、一定の条件下での入山を、海外の先進事例等も参考に研究する。

財源確保については、管理計画に緩衝地域での環境教育等の利用や、遺産地域の管理、施設整備が盛り込まれていることから、事業を実施しようとする際には、遺産地域を国の支援制度の対象に加える等の見直しを国に要望していく。

### 大館能代空港東京羽田線の三往復運航定着の取組

**Q** 令和7年3月に三往復運航の期間が終了するが、三往復運航を継続するための要件を分析しているか。アドバイザー招致により何を期待し、どう取組を強化しようと考えているか。

**A** (観光文化スポーツ部長) 国では期間終了以降の取扱いを明らかにしていないが、まずはこの期間内に安定した需要を確保したい。

アドバイザーに就任した岡田信一郎氏は、昨年度、南紀白浜空港の利用者数を10年前の2倍以上に押し上げた方であり、サポートを受けながら、ビジネス客等を対象にした地域の魅力に触れる体験型モニターツアー等の事業を推進し、安定的な需要の確保を目指す。

## 不適切な保育

— 保育所等における不適切な保育 —

**Q** こども家庭庁の実態調査で、県内で不適切な保育と確認された20件とはどのような事例か。また、市町村や当該施設とどのように情報共有し、問題解決や再発防止対策を講じているのか。

**A** (教育長)「子ども一人一人の人格を尊重しない関わり」12件、「罰を与える・乱暴な関わり」6件等である。  
今後県が事案を把握した場合は、市町村と情報を共有し、改善に向けて取組を強化する。さらに指導監査で得た保育の改善のための情報を市町村で活用できるよう、取組を推進する。  
幼稚園についても独自に調査を行い、不適切な対応の未然防止につなげる。

## 物流の2024年問題

— 県の今後の対応 —

**Q** 働き方改革関連法により、トラック運転手の労働時間が規制されるため、輸送能力の不足が懸念されている。県としてこの問題をどのように受け止め対策を講じているのか。

**A** (知事) 県内運送事業者や荷主企業等からなる「秋田未来物流協議会」を組織し、持続可能な物流体制の構築について議論を重ねてきた。  
新幹線での鮮魚輸送に関する実証実験を行ったほか、物流の効率化や労働力不足への対応等について国に要望活動を行ってきた。  
引き続き、デジタル化の推進や共同輸配送の促進など、物流の効率化に向けて取り組んでいく。

## 一般質問



みうらしげと  
三浦茂人議員

[会 派] みらい  
[選挙区] 秋田市

MOVIE



## 教員採用試験

**Q** 令和6年度教員採用試験の志願状況は、全校種で採用予定者数205人に対し、志願者数が648人で、志願倍率は3.2倍であった。この状況認識と、今後の教員確保に対する取組を聞きたい。

**A** (教育長) 志願者数は5年連続で減少しているが、新規学卒者の割合はここ数年増加している。  
他県教諭や教職経験者に対する優遇措置を設けるなど、受験しやすい制度の拡充に努めている。  
少子化の状況にあっても一定数の新規採用を継続するとともに、試験制度の更なる改善と、本県の教員として働く魅力の発信に一層努め、質の高い教員の確保を図っていく。

## 再犯防止対策

**Q** 秋田県再犯防止推進計画に基づく取組の進捗状況や、現時点での評価はどうか。また、それを今後策定が予定される第2次計画にどのようにつなげていくのか。

**A** (健康福祉部長) 「地域生活定着支援センター」(P7①)による矯正施設出所後のフォローアップなどにより、刑法犯検挙者の再犯者数は減少し、着実に成果が現れてきている。  
こうした取組の成果や課題を検証しながら、第2次計画の策定に向けて準備を進めていく。  
今後は、再犯防止の推進に向けて、地域で立ち直りを支援することへの県民の理解を深め、きめ細かな取組を展開する。

## 一般質問



いまかわゆうさく  
今川雄策議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 秋田市

MOVIE



## 一般質問



さくら ゆうこ  
櫻田憂子議員

[会 派] 立憲民主党  
[選挙区] 秋田市

### 県営住宅への若者の入居と 空き室の活用

**Q** 令和5年4月30日現在、県営住宅29団地では、全体の22.4%が空き家である。県営住宅に単身の若者が入居できるよう条件を見直し、積極的な活用を進めるべきではないか。

**A** (知事) 県営住宅の適正な維持管理に努めているが、建物や住宅設備の老朽化により入居率の減少や入居者の高齢化が課題となっている。入居条件の見直しにより、コミュニティの活性化等が期待される一方で、民間賃貸住宅への影響も考慮する必要がある。他の自治体の情報収集や、単身の若者等の入居需要の分析をしながら、活用方策を検討する。

### 不登校やひきこもりへの対応 —不登校特例校と夜間中学の整備—

**Q** 高校進学や通常学校への復学を目指すのではなく、「子どもを真ん中に据えた新しい教育モデル」として、不登校特例校や夜間中学を整備・発信すべきではないか。

**A** (教育長) 不登校児童生徒数は、近年、増加傾向にあり、本県が抱える課題の一つと捉えている。そのため、県では、4か所の「スペース・イオ」(P7②)を設置するとともに、スクールカウンセラー等による教育相談体制を構築し、個々の特性に応じた支援を行っており、取組の更なる充実・強化を図っていく。不登校特例校については、そのあり方を研究し、夜間中学については、その需要を捉えるための調査を検討する。

MOVIE



## 一般質問



ささき ゆうた  
佐々木雄太議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] にかほ市

### 知事の政治姿勢 —今後の人口減少対策の方針—

**Q** 少子化の改善に向けて「思い切った施策」を打ち出すとのことだが、どのような方針のもと、どこに重点を絞って推進していくのか。

**A** (知事) 上場企業等の県内進出などにより、大卒者の受入れ基盤が整備されつつあることから、若年男女の人口バランスや結婚観などを踏まえた新たな少子化対策が必要と考える。首都圏等からのAターン就職者など、誘致企業による人材確保という視点も加味しながら、大卒者の県内定着・回帰に主眼を置いて対策を推進する。

### 第八次高等学校総合整備計画 —仁賀保高校の存続—

**Q** 第八次計画(令和8年度～)策定に当たっては、統合等再編ありきではなく、地域固有の事情や高校の特色を踏まえ、存続という選択肢があっても良いのではないか。

**A** (教育長) 再編整備構想検討委員会の報告書では、小規模校に関しては『学校と地域の関わり方などを多角的に検討した上で、存続させることがあってもよい』とされている。報告書の内容や地域の実情を踏まえつつ、生徒が意欲的に学習や諸活動に取り組み、それぞれの目標の実現に向かって生き生きと学ぶことができる活力ある学校づくりを第一に考え、計画の策定を進めていく。

MOVIE



## 水田活用の直接支払交付金

— 交付要件の緩和に向けた要望 —

**Q** 国は「1か月以上の湛水管理を行い、連作障害による収量低下が発生しない場合」に交付対象とする若干の要件緩和を行ったが、更なる緩和に向け、知事会での話題提供や国への要望活動はできないのか。

**A** (知事) 国はこれ以上見直しの方針を変えることはないと考えている。

見直しに適切に対応できるよう、畑地化や田畑輪換に必要な機械の導入支援、品質・単収の向上対策等の技術的な支援を引き続き行っていく。

条件不利農地においては、食料安全保障の観点から、ソバ等の省力栽培で農地を面的に維持する対策を講じるよう、国に要望している。

## 地域医療構想

— 二次医療圏再編に向けた今後の取組 —

**Q** 二次医療圏(P7③)を現行の8医療圏から3医療圏に再編する方針が県医療審議会医療計画部会です承された。地域住民の理解を得ることが最優先であるが、こうした取組を今後どう進めていくのか。

**A** (健康福祉部長) 今後、圏域内の医療機関の役割分担と連携について協議していくが、これは病院の統廃合や病床の削減を目的とするものではない。人口減少下でも、より質の高い持続可能な医療提供体制を実現するために必要な方策である。

現在実施している意識調査を活用し、県民の不安な気持ちに耳を傾けるとともに、丁寧に説明し、理解促進を図る。

## 一般質問



さとうのぶき  
佐藤信喜議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 能代市山本郡

MOVIE



## Glossary

### 用語解説

【①地域生活定着支援センター】  
高齢又は障がい有するため、矯正施設退所後、自立した日常生活が困難な方々に対して、福祉サービス等の支援を行う機関。

【②スペース・イオ】  
不登校、ひきこもり傾向にある児童生徒等を対象として、存在感をもち、安心して過ごすことのできる「心の居場所」を提供しながら、学習支援を行う施設。

【③二次医療圏】  
一般的な入院治療を中心とするサービスを提供するための地域的単位。

なお、一次医療圏はかかりつけ医としての外来医療など、日常的な医療・保健・福祉サービスを提供するための地域的単位で、三次医療圏は都府県単位で設定する、高度医療・特殊医療を提供するための地域的単位。

【④パワー半導体】  
高い電圧、大きな電流を扱うことができる電子部品で、電動自動車や風力発電などでの活用が期待されている。

【⑤ヤングケアラー】  
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることのこと。

【⑥ウォークブル】  
居心地が良く歩きたくなる、といった意味。

## 一般質問



すみたとおる  
住谷達議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 湯沢市雄勝郡

MOVIE



### 産業振興 －半導体産業の支援策や今後の方向性－

**Q** 次世代の**パワー半導体** (P7④) の生産拠点が本県に整備されれば、国際的な存在感が増すと考える。半導体産業の支援・対応策も含め、今後の方向性を聞きたい。

**A** (知事)半導体は、デジタル社会やグリーン社会を支える重要な基幹部品として、市場の急速な拡大が見込まれることから、素材や製造装置など関連産業が集積する本県にとって、大きな商機と認識している。

半導体関連産業の集積による強みを生かし、県内企業による事業展開や生産基盤の強化に向けた取組を積極的に支援する。

### 農林業の振興 －再造林の現状と今後の方向性－

**Q** 再造林を積極的に推進し、本県の森林を、将来に渡り持続可能な宝の山へと転換を図り、次世代につないでいくことが重要ではないか。再造林の取組の現状認識と今後の方向性を聞きたい。

**A** (農林水産部長) 昨年度、林業経営体が再造林と保育管理を一括して行う仕組みを構築し、森林所有者と林業経営体の双方を支援する制度を創設したことにより、再造林率は4割を超える見込みである。

今後とも、造林地の集積や低コスト再造林技術の普及などに取り組みながら、令和7年度に再造林率5割を達成し、将来的に植栽適地すべてで、皆伐・再造林が行われるよう努める。

## 一般質問



うさみやすひと  
宇佐見康人議員

[会 派] 自由民主党  
[選挙区] 秋田市

MOVIE



### ヤングケアラー対策 －支援の普及に向けた情報発信－

**Q** 早期把握、支援のため、社会における認知度をどのように拡げていくのか。また、正確な情報を、**ヤングケアラー** (P7⑤) となりうる子どもがいる家庭に伝えるため、どのようにアプローチしていくのか。

**A** (健康福祉部長) 県民向けにセミナーを開催したり、学校等に啓発ポスターを掲示するなど、ケアラーの理解促進を図っている。

また、SNS相談窓口を開設しているほか、小中学生や高校生を対象に相談窓口紹介カードを配布し、周知に努めている。

今後、学校、児童委員、医療等関係機関との連携を強化し、子どもやその家族に寄り添った支援を展開していく。

### ウォーカブルなまち －歩行周遊に向けたまちづくり－

**Q** 交通渋滞の緩和など、今後の環境配慮や市街地における地域の活性化のために、歩行空間の確保、充実が欠かせない。**ウォーカブル** (P7⑥) なまちづくりを促進すべきではないか。

**A** (建設部長) まちなかでのウォーカブルな空間の確保は、まちのにぎわい創出につながると考える。

県内では、国が進める「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりの取組に賛同する秋田市など5市が、「ウォーカブル推進都市」に登録されている。

今後、街路等の整備による快適な歩行空間の確保に努めるとともに、市町村が進めるにぎわい創出の取組を支援する。

## 総務 企画 委員会

**Q** 「行政サービスの提供のあり方検討事業」について、設置する外部有識者会議では、どのようなことを議論するのか。

**A** 人口減少や公共施設の老朽化等の課題がある一方で、デジタル技術の急速な進展など社会を取り巻く環境が大きく変化している。そのため、会議では中長期的な視点に立って、持続的・安定的な行政サービスの提供のあり方について検討をしていただく。公民連携や県・市町村連携、デジタル技術の活用などのテーマで議論を重ね、来年3月に知事への提言をいただく。



あきたまるごとAターンフェア

**Q** 「あきた暮らし・交流拠点設置事業」でのイベント等の周知について、高校の同窓会のネットワークを活用した情報発信の仕組みも構築していくべきではないか。

**A** 現在も、大学の父母会等を通じて情報発信を行っている。新たに設置する交流拠点をPRする上では、県人会や同窓会、首都圏で活動している関係団体など、秋田にゆかりのある方や秋田に思い入れのある方のネットワークを広げていくことは非常に重要なので、今後、さらに取組を進めていきたい。

## 福祉 環境 委員会

**Q** 二次医療圏を広域化することにより期待される効果が県民に十分に伝わっておらず、身近な医療機関が減ってしまうのではないかと心配の声を多く耳にする。県民に対して丁寧な説明が必要ではないか。

**A** 二次医療圏の広域化は、病院の統廃合や病床削減を要請するものではなく、医療機関の役割分担と連携を図ることにより、24時間365日、質の高い医療提供体制を確保することが目的である。県民には、関係機関との連携や県ウェブサイトでの発信により、丁寧に説明していく。

**Q** 働き盛り世代の自殺防止のため、企業へどのようにアプローチしていくのか。また事業内容を見ても目新しさを感じないが、もう一段階、上の対策が必要ではないか。

**A** 企業内のゲートキーパーの充実や、経営者向けのメンタルヘルス研修を行うことで、身近な相談体制の整備や経営者の意識醸成を図りたい。また、秋田大学自殺予防研究センターに自殺予防対策に関する分析等を依頼しており、今後はその分析を基に新しい対策を検討したい。



ふきのとうマーク

## 農林 水産 委員会

**Q** 「輸出拡大プロモーション事業」は、どのような経緯で、今回、補正予算として計上したのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

**A** 3月に台湾で行った知事のトップセールスの際に、県産農産物の輸出拡大について、現地企業の経営者から直接オファーがあり、このチャンスを逃がすことなくプロモーションを展開するため、今議会に予算を計上した。今後も、相手方との信頼関係を構築しながら台湾での認知度を高め、県産農産物の重要な販売ルートの一つとして、輸出拡大に取り組んでいきたい。

**Q** 飼料価格高騰等の影響により、酪農経営の収益性が著しく悪化している中、今回の支援策により、経営は維持できるのか。

**A** 現場からの要望を踏まえ、行政や団体等で互いに補うような施策体系を構築している。県としては、当面の経営維持に向けた急場をしのぐための取組と、低コスト生産に向けた前向きな取組を支援することにより、今後の再生産と経営体質の強化を図っていきたい。



乳牛飼育の様子

# 委員会審査（予算特別委員会分科会審査）

## 産業 観光 委員会

**Q** 秋田県営秋の宮山荘の指定管理者の指定について、候補者としての適格性に関し、どのような点を評価したのか。

**A** 申請団体の管理運営方針において、秋の宮温泉郷の魅力を高めていくために、周辺施設との棲み分けを図り、積極的に団体旅行の受入れや地元食材の活用を図るとされている。こうした点から、指定管理者としてしっかりとしたサービスを提供していただけると判断した。



冷蔵設備

**Q** 「商業・サービス産業経営革新事業（省エネ設備更新枠）」について、昨年度の同様の事業では、補助限度額の下限は10万円だったが、今回は100万円である。これでは100万円未満の省エネ設備は更新できないことが懸念される。下限額を100万円よりも引き上げる考えはないか。

**A** 昨年度は、飲食店や小売店などにおける小規模な取組を支援することにより、広く省エネ効果を行き渡らせることを目的としていたが、今回は、エネルギー多消費型企業が行う一定規模の設備更新を補助対象としている。

## 教育 公安 委員会

**Q** 小・中学校等への統合型校務支援システムの導入にあたっては、問合せ等に適切に対応できるサポート体制の構築が重要であり、業者選定においてその点をしっかり評価する必要があるのではないかと懸念する声もあったが、結果はどうだったのか。

**A** 導入後のサポート体制についても業者選定における重要な審査観点の一つと考えている。また、システム導入を契機として、教員の業務のあり方そのものの見直しを図り、多忙化の解消と教育の質の向上に向け、市町村と連携して取り組んでいきたい。



高校の部活動

**Q** 高校入試制度の改革により、1月に実施していた前期選抜を、3月上旬に特色選抜として実施することで、スポーツに取り組む中学生の県外志向が高まると懸念する声もあったが、結果はどうだったのか。

**A** 県スポーツ協会が、県外の高校に進学した生徒に志望理由の聞き取り調査を行ったところ、より高いレベルでの活動を望む本人の志が主な理由となっており、入試制度の改革が、スポーツに取り組む中学生の進路動向に大きな影響を与えたとは捉えていない。

## 令和5年第2回定例会（5月議会・6月議会）表決状況

議案等	件名 ※下記以外の議案等については全会一致で可決されました。 ※5月議会、6月議会の本会議における表決状況は右の二次元コードからご覧になれます。	5月議会	6月議会	議決月日	議決結果	表決者数	賛成者数	反対者数	自民				
									高橋健	武内伸文	小棚木政之	高橋豪	瓜生望
知事提出	令和5年度秋田県一般会計補正予算（第2号）	5月議会	6月議会	7月6日	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	鳥海ダムの建設に関する基本計画の変更に対する意見について					40	39	1	○	○	○	○	○
議員提出	給特法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書	5月議会	6月議会	7月6日	否決	40	12	28	×	×	×	×	×
	保育士配置の充実等を求める意見書					40	13	27	×	×	×	×	×



## ●令和5年第2回定例会〔5月議会〕

■期間 5月15日、16日

北林丈正議長、鈴木健太副議長が選出されました。

### ●議案の議決状況

#### 知事提出議案

■予算 可決 1件

◆令和5年度秋田県一般会計補正予算(第1号)  
5,684万円

#### 物価高騰対策

「子育て世帯生活支援特別給付金事業」

低所得のひとり親世帯の生活を支援するため、特別給付金を支給する。

■人事 同意 1件

◆秋田県監査委員の選任について

■条例 可決 1件

◆秋田県公安委員会関係手数料徴収条例の一部を改正する条例

■その他 可決 1件

■報告 承認 2件

## ●令和5年第2回定例会〔6月議会〕

■期間 6月13日～7月6日(24日間)

### ●議案の議決状況

#### 知事提出議案

■予算 可決 1件

◆令和5年度秋田県一般会計補正予算(第2号)  
172億円

補正予算の主なもの

#### ① 物価高騰対策

「LPガス価格高騰対策緊急支援事業」

8億2,526万円

LPガスの価格高騰の影響を受けている一般消費者等の負担軽減を図るため、料金の一部を助成する。

「福祉施設・医療施設物価高騰対策事業」

9億2,167万円

電力等の価格高騰の影響を受けている福祉施設・医療施設の負担軽減を図るため、光熱費の高騰分に対し助成する。

#### ② 新秋田元気創造プランに基づく事業

「心はればれ県民運動推進事業」

1,293万円

自殺者数が増加傾向にあるため、街頭キャンペーンや各世代に合わせた幅広い広報などの緊急的な対策を実施する。

■人事 同意 2件

◆秋田県公安委員会の委員の任命について

◆秋田県収用委員会の委員及び予備委員の任命について

■条例 可決 7件

◆秋田県立高等学校設置条例の一部を改正する条例 ほか6件

■その他 可決 9件

◆鳥海ダムの建設に関する基本計画の変更に対する意見について ほか8件

#### 議員提出条例

可決 1件

◆県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

県議会議員が会議、委員会又は協議等の場に出席したときに支給する旅費のうち宿泊料の上限額を引き上げるもの。

#### 可決された意見書

可決 3件

◆大曲簡易裁判所への裁判官の再配置を求める意見書

◆特定商取引に関する法律の抜本的な法改正を求める意見書

◆森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

#### 採択された請願

採択 2件

◆消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的な法改正を求める請願について

◆「大曲簡易裁判所につき裁判官の再配置を求める意見書」の採択等の請願について

#### 議会開催予定

令和5年第3回定例会(9月議会)

令和5年9月11日(月)～10月5日(木)

※現時点での予定です。変更となる場合は、秋田県議会ウェブサイトでお知らせします。

#### テレビ広報「県議会のしおり」

奇数月の最終日曜日にABS秋田放送で17時10分から放送。次回は9月24日(日)。YouTubeでも配信しています。



YouTube